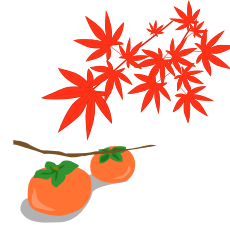


図書館と県民のつどい埼玉 2013

今年も、県民とともに図書館のあり方を考える「つどい」を開催します。午後から行う「こども読書活動交流集会」は、家庭・地域・学校・図書館でこども読書に関わる人たちの「つながり」と「学び」の場です。ふるってご参加ください。



★★★講演会・講座のご案内★★★

午前 (10:00~11:45) **記念講演** [定員 500]

読むこと、見ること、生きること

—文学/アートとの出会い

原田マハ氏 (作家、代表作『楽園のカンヴァス』など)

午後 (13:30~15:30) **こども読書活動交流集会**

◆絵本講座 [定員 150] 松井るり子氏 (『7歳までは夢の中』著者)

絵本の世界、手渡す楽しみ

◆わらべうた講座 [定員 35] 石川道子氏 (わらべうた・絵本研究家)

わらべうたは豊かな言葉の世界—こどもと本をつなぐために

◆科学読み物講座 [定員 35] 高柳芳恵氏 (『どんぐりの穴のみみ』著者)

ほんとうに”知る”ってどんなこと?—小さな命を見つめ続けて

全日 **大学・高校・公共図書館部会による展示など**

◆ つながる・ひろがる 図書館イベント紹介

◆ ブックケア 未来へつなげる保存の技術

◆ 大学図書館のお宝お見せします

◆ ここがポイント! 高校図書館



日時 平成25年12月1日(日)

10:00~16:00

会場 桶川市民ホール・さいたま文学館
(JR高崎線桶川駅徒歩5分)

申込 ①記念講演(先着順) / 電話・

インターネット 埼玉県立図書館で検索

②講座(抽選) / 電話・はがき・

FAX(締切10月31日)

※詳細は、チラシや埼玉県立図書館のホームページ等でご案内します。

◆問い合わせ

県立浦和図書館「図書館のつどい」係
〒330-0063

さいたま市浦和区高砂3-1-22

電話: 048-829-2821

FAX: 048-829-2979

10/1
受付開始

《目次》

- ひとつぶのたねから 1
- 連載: おはなし・読み聞かせ実践講座⑩ . . . 1
- 連載: 子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑩ . 2
- 新聞・雑誌クリッピング担当から 2
- ブックリスト担当から 3
- インターネット情報からの情報収集担当から . . . 3
- 図書館と県民のつどい埼玉2013 4
- 読み聞かせボランティア団体のための講師派遣 . . 4

子ども読書支援情報誌

携帯用QRコード



しえん

Shien 第16号

こどもの読書に関わる大勢の方の活動とネットワークを支援(Shien)するそんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

平成25年9月15日 発行

埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

ひとつぶのたねから



感動した本をみんなに読んでもらいたいという願いが、そのはじまりでした。私は、『ちこくいっかいかたつむり号』(文研出版 1978)を出版した直後でしたが、イギリス児童文学にはまっていて、数人の仲間といっしょに、それらの本を読みはじめました。『砂』ウィリアム・メイン、『たのしい川べ』ケネス・グレーアム、『ともしびをかかげて』ローズマリ・サトクリフ、『ホビットの冒険』J.R.R. トールキンなど……。読みつけているうちに、仲間がつぎつぎに六つの文庫を開庫し1987年「はすっ子読書連絡会」が誕生しました。文庫には本があり、本を読むおばさんがいる楽しい場所でした。その後、蓮田市に新図書館がオープンし、文庫は人形劇、おはなし会、朗読の会、読書会などに形を変えながら、こどもと本をつなぐ役目をし、現在に至っています。「民話らいぶらりい」では、『ゲド戦記』アシュラ・K. ルグウィンを声にだして読む試みをしています。物語が秘めている始原の力によりそうことができるのではないかという試みです。ことに幼児、低学年の本は声をだして読むことが本を選ぶひとつの目安になると感じています。

本年(2013年)4月「はすっ子読書連絡会」は、子どもの読書活動推進フォーラムで平成25年度文部科学大臣表彰をいただきました。石田淑子(民話らいぶらりい主宰、はすっ子読書連絡会事務局)

おはなし・読み聞かせ実践講座 ⑩

おもしろそう



読み聞かせなどのワンポイントアドバイスをリレーでお届けするコーナーです。前号での予告どおり、**中学生への読み聞かせ PART3 ブックトーク編** 久喜中学校での活動をご紹介します。

この活動は「ブックトークをして、40冊セットにし、クラスに1か月間置いてくる」という宮代町の小学校でのボランティア活動をお手本に、先生方や久喜市立図書館、図書委員の協力によってはじめることができました。ブックトークとは「テーマを決めて、人から直接、本の紹介をする」ことですが、久喜中では朝読書の時間に10分間の「テーマを決めない本の紹介=クイックブックトーク」を行っています。

中学1年生のクラスには、人数の分だけ個性を持ったこどもたちがいます。ブックトークは年に1回のチャンス、この時期にぜひ出会う欲しい創作、ノンフィクション(歴史、自伝、戦争)、詩、写真集(活字が苦手な子ども本に手が伸びるように)、同じくらいの歳の主人公の本など、40冊を選書し、うち10冊ほどをクイックブックトークします。その後約1か月間、本をそのクラスに置き、次のクラスへまわしていきます。

クイックブックトークでとりあげたのは、『竜退治の騎士になる方法』『妖怪アパートの幽雅な日常』『雪とパイナップル』『だれも知らない小さな国』『DIVE!!』『カラフル』『宇宙への秘密の鍵』などなど。内容を簡単に紹介し、冒頭を少し読むだけで、こどもたちの興味が違います。

今では学校で購入した本による「よりみち文庫」(40冊セット×6セット)を設置し、1年生だけでなく、2、3年生のクラスにも内容の違うセットがまわされるようになりました。来年度には、全学年全クラスに、「よりみち文庫」を設置することになりました! 忙しいこどもたち、身近に本があると手を伸ばしてくれるかも。

大塚由紀(久喜中読み聞かせボランティア)

読み聞かせ・ストーリーテリング★昨年度の派遣先は約40団体です★

初心者向け研修会に講師を派遣します

(読み聞かせボランティア団体のための講師派遣)

絵本の読み聞かせやストーリーテリングの初心者向け研修会に、

埼玉県立久喜図書館で養成したおはなしボランティア指導者を派遣します。

研修会の開催方法は県立久喜図書館がサポートいたしますので、お問い合わせ

ください。研修会開催の1か月前までに下記までお申し込みください。

お申込み・ご案内: 県立久喜図書館子ども読書推進担当 TEL: 0480(21)2659

https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/ko_shien/shien1.html



編集後記

こどもの読書を支援する活動に携わって半年。まだまだ勉強することの多い毎日です。先を行く先輩方も、まだ先へと進み続けています。その背中を見失わないよう、励みたいと思います。早く一人前になりたい…(職員U)

編集発行 埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア

埼玉県立図書館のウェブサイト「子ども読書支援サービス」
<https://www.lib.pref.saitama.jp/> ※バックナンバーはこちら

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5
TEL 0480(21)2659 (代)
FAX 0480(21)2791



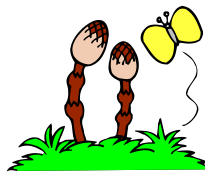
語りの会「ずくぼんじょ」

子ども読書支援関係ボランティア団体等紹介⑩

私たちは、ふじみ野市の大井図書館で行われたボランティア研修から生まれた語りのグループです。「ずくぼんじょ」というのは、佐賀県の方言で「つくしんぼ」のこと。今年で10年目、現在会員は12名です。ほとんどが初心者で、語りを聞くことが楽しくて、少しずつ勉強しながら、おはなしを覚えて語ってきました。何を語るか、探すのは大変ですが、一つずつ持ち話を増やし、お互いにおはなしを聞き合う中で時には厳しい意見もですが、率直に言い合い向上につながっていると思います。年に2回講師を招いての研修会では、身内だけでは得られない講評もいただいています。また、会員の中には、お国言葉で語る人もいて、各地のユニークなおはなしを聞けるのも「ずくぼんじょ」の魅力になっています。

今では、春休み・夏休みに図書館で開く小学生のためのおはなし会をはじめ、図書館行事にも参加し、年に一度**大人を対象とした語りの会**も開いています。⇒⇒⇒⇒⇒

また、最近、小学校や各種サークルから、おはなしの出前の依頼も増え、目を輝かせて聴いてくれる子どもたちに向かって語れることが何よりの喜びです。本来、各家庭で口伝えされていた語りですが、「桃太郎」や「花咲か爺」の昔話自体を知らない大人もいます。私たちが語ることで、子どもたちに日本の昔話や人から直接聞くおはなしの楽しさを伝えられれば嬉しいです。丸井利恵（語りの会ずくぼんじょ）



♪ お知らせ ♪
大人のためのおはなし会
11/30(土)14時開演
ふじみ野市立大井公民館

会員募集
定例会：毎月第3火曜日 午前9時30分～12時
場所：埼玉県ふじみ野市立大井図書館
問合せ：049(264)5990（丸井）
HP：http://www.geocities.jp/zukubonjo294/
「語りの会ずくぼんじょ」で検索
活動報告や予定等ずくぼんじょの活動が詳しく載っています

Nice to meet you!
子ども読書支援ボランティアです。

埼玉県立図書館のホームページ
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」のページ



埼玉県のマスコットコバトン

このコーナーでは、私たち3グループの活動の一端を

きりめき羅針盤

新聞・雑誌クリッピング担当から

今回は、『絵本 いっぱい読んで 幼児に贈る「セカンドブック」自治体で広がる』【日本経済新聞（夕刊）2013.6.1】をご紹介します。

2000年に日本に紹介され、全国各地に広がった「ブックスタート」。赤ちゃんの0歳児健診で絵本を開く楽しい体験を届ける事業です。今年2月末現在で833市区町村が実施しています。それに加え3歳児健診や小学校入学時などに、年齢にあった絵本を新たに渡す「セカンドブック」事業が広がりはじめています。



東京都北区では2003年、乳児の3～4か月健診時に親子に絵本を贈るブックスタートを開始。07年には3歳児健診の案内に引換券を同封し、推薦する5冊から1冊を区立図書館で渡す取り組みを加えました。今年5月に北区と同様の取り組みを始めた葛飾区。東京都狛江市は小学1年生を対象に導入。指定した12冊から児童の希望を聞き1学期末に本を渡す予定だそうです。

インターネット上での検索によると、埼玉県内でも小学1年生にセカンドブック事業を始めている自治体があるようです。

子どもにとって成長に合わせて本と出会う機会が増えることは喜ばしいです。本をとおして世界が広がれば嬉しいです。

井上（子ども読書支援ボランティア）

記事の原本は久喜図書館のこども室で見られます！子ども読書関連新聞記事はウェブサイトに掲載中！

使えるブックリスト

ブックリスト担当から



「中学生におすすめする本（本の苦手な子へ）」が完成しました！
小学校低学年・中学年・高学年と選んできた「本の苦手な子へ」のおすすめ本ブックリスト。最後は中学生！ページ数も多かったです。気にならずに読み進めるのではないかなと思います。



『ワンス・アホナ・タイム』
（安東みきえ作/理論社）
ブラックユーモア、かも！
王や王妃たちの
おとぎ話集（7編）



『声が聞こえたで始まる
七つのミステリー』
（小森香折著/アリス館）
「ミステリー」と言っても、
不思議だったり、ほっとしたりと、
楽しめるショートストーリーです。

『風の館の物語（全4巻）』
（あさのあつこ作/講談社）
母のおばさんの家に預けられた姉妹。
その家は、とても不思議なところで…。

リストに選んだのは、全部で22タイトル。シリーズ本もあるので、自分のお気に入りを見つけてもらえたら、私たちも嬉しいです。

二橋（子ども読書支援ボランティア）

全リストはココ HP トップブックリスト

知っ得情報！

インターネット情報からの情報収集担当から

*** おすすめHP（ホームページ）の紹介 ***

各地の公立図書館のユニークなブックリストを紹介します。

☑ ティーンズのページ 本のリスト（大阪市立図書館）<http://www.oml.city.osaka.jp>

10代に向けた本を紹介。10代自身から推薦してもらった本や大阪・関西を舞台にした小説、部活動小説などのジャンルの本を紹介しています。

☑ ブック・リスト（印西市立図書館）<http://www.library.city.inzai.chiba.jp>

年代別ブックリスト。赤ちゃん・幼児・小学生・中学生にわけて紹介しています。

☑ 子育て応援 BOOKS（墨田区立図書館）<http://www.library.sumida.tokyo.jp/index?4>

保護者向けに、絵本や、こどもの心と体の本、食育の本などを紹介しています。

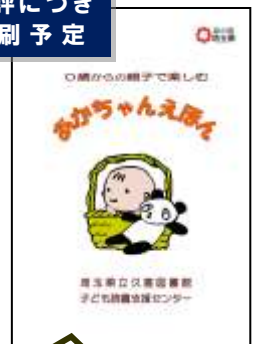
どの公立図書館でも毎年色々なブックリストを作成しています。今回はPDF版ではなく、ウェブサイト用に作成された活用しやすいものを取り上げてみました。

坂本（子ども読書支援ボランティア）

子ども読書支援センターからの お知らせ

「0歳からの親子で楽しむ
あかちゃんえほん」
この春、刊行！ 県立図書館
こども室カウンターで配布中！

好評につき
増刷予定



県立図書館ウェブサイト
<https://www.lib.pref.saitama.jp/>
「子ども読書支援サービス」に
PDF版を掲載しています。

県立図書館の司書が選んだ、
おすすめの赤ちゃん絵本
全50冊。楽しい紹介文つき！